



## 2021年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月4日  
東

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 4361 URL <https://www.kawachem.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 秀行  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野 幹雄 (TEL) 048-222-5171  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年11月期第3四半期の連結業績(2020年12月1日～2021年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2021年11月期第3四半期	5,763	20.7	346	562.9	348	658.4	259	668.3
2020年11月期第3四半期	4,776	△13.5	52	△29.7	45	△34.5	33	△20.2

(注) 包括利益 2021年11月期第3四半期 288百万円(948.4%) 2020年11月期第3四半期 27百万円(12.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年11月期第3四半期	213.08	—
2020年11月期第3四半期	27.74	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2021年11月期第3四半期	7,734	2,224	28.8
2020年11月期	7,189	1,972	27.4

(参考) 自己資本 2021年11月期第3四半期 2,224百万円 2020年11月期 1,972百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年11月期	—	0.00	—	—	—
2021年11月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年11月期の連結業績予想(2020年12月1日～2021年11月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	7,650	15.4	350	332.7	350	322.1	260	338.1	213.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年11月期3Q	1,220,000株	2020年11月期	1,220,000株
② 期末自己株式数	2021年11月期3Q	2,286株	2020年11月期	2,217株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年11月期3Q	1,217,768株	2020年11月期3Q	1,217,783株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として残り、収束がみえないものの、世界経済は先進国を中心にワクチン接種の進展や景気刺激策により経済活動が回復基調で推移しました。中国では、個人消費、輸出共に拡大基調を維持したことから堅調に景気回復が進みました。米国においても、景気対策や経済活動規制の緩和などにより、景気は回復基調で推移しました。

国内経済は、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発令され個人消費関連業種で停滞がみられるものの、製造業を中心に設備投資や生産活動は景気持ち直しの動きがみられ、輸出も増加傾向が続きました。当社グループに關係の深い自動車産業においては、世界的な半導体不足の影響により、中国では自動車生産台数が前年度を下回る状況となりました。日本国内においても、半導体不足により一部自動車生産工場の操業が停止し、自動車生産への影響が発生いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、市場における需要変動への安定供給対応を積極的に進めるとともに、これまで培ってきた技術を活用し、受託合成品の拡大、並びに品質・技術に優位性を持つ医療用ゴム用途製品、医療用途脱水縮合剤の製造販売に注力、成長分野での市場拡大を積極的に進めました。

一方、生産においては、原料の安定調達に注力し、変化する市場要求に対応、コストダウンと経営資源の効率化を全社規模で進めました。

これらの結果、その他薬品の売上は前年同期を下回りましたが、ゴム薬品、樹脂薬品、中間体においては前年同期を上回りました。当第3四半期連結累計期間の売上高は57億63百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益は3億46百万円（同562.9%増）、経常利益は3億48百万円（同658.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億59百万円（同668.3%増）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

#### ① 化学工業薬品事業

売上高は57億35百万円（同20.8%増）、セグメント利益（営業利益）は3億23百万円（同1,000.8%増）となりました。

#### ② 不動産賃貸事業

売上高は28百万円（同0.3%減）、セグメント利益（営業利益）は22百万円（同0.4%減）となりました。

### （化学工業薬品事業の部門別の概況）

#### <ゴム薬品>

国内の工業用品向け薬品は、国内自動車生産及び販売、海外市況が堅調に回復し、自動車関連産業の世界的な半導体不足による減産影響が懸念されましたが、当第3四半期では大きな影響を受けることなく推移いたしました。また、品質・技術に優位性を持つ医療用ゴム用途製品に注力し販売を伸ばしました。その結果、国内全体では前年同期を上回る売上となりました。タイヤ向け薬品は、輸出向けタイヤ生産及び国内自動車生産の回復により顧客の稼働が堅調に推移し、前年同期を上回る売上となりました。合成ゴム向け薬品は、国内自動車生産、国内タイヤ生産の回復により全体では売上が前年同期を上回りました。

海外向けは、新型コロナウイルス感染症の影響からの経済回復が顕著な中国市場における中国子会社での大幅な増販をはじめ、東南アジア諸国での市況回復が鮮明となりました。また、海外においても品質・技術に優位性を持つ医療用ゴム用途製品に注力し販売を伸ばしました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品の売上高は34億61百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

<樹脂薬品>

国内向けは、主要顧客であるアクリル酸・アクリル酸エステル生産は回復基調となり、当社主要製品において激しい海外品との競合により売上が前年同期を下回る一方、他の当社主要製品の販売が増加しました。海外向けは、当社主要製品の販売が回復、更には電子材料関連への積極的な拡販活動を展開した結果、売上は前年同期を上回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上高は6億9百万円（同17.2%増）となりました。

<中間体>

界面活性剤中間体は、主要製品の需要が回復したことにより売上は前年同期を上回りました。染顔料中間体、農薬中間体は、主要製品の販売が低調で、売上は前年同期を下回りました。医薬中間体は、国内、海外向け共に品質・技術に優位性を持つ医療用途脱水縮合剤の製造販売に注力、顧客要望への積極的な対応の結果、販売を増やし売上は前年同期を上回りました。

この結果、中間体部門合計の売上高は7億69百万円（同10.0%増）となりました。

<その他>

環境用薬剤は、需要が堅調に推移したことから、売上は前年同期を上回りました。潤滑油向けは、需要低迷により売上が前年同期を下回りました。新規用途向けは、当社が得意とする合成技術を基盤とする製品の販売に注力し売上を伸ばしましたが、当期における各製品の顧客での需要が低調に推移し売上が前年同期を下回りました。

この結果、この部門合計の売上高は8億94百万円（同2.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては77億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億44百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が4億18百万円、たな卸資産が1億13百万円増加したことによります。

負債につきましては55億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億92百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億6百万円増加したことによります。

純資産につきましては22億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億51百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が2億22百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年11月期の連結業績予想につきましては、2021年5月28日に公表いたしました連結業績予想数値からの変更はございません。なお、2021年7月5日に公表いたしました配当予想につき変更いたしました。詳細は、本日発表の「期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	882,857	1,301,090
受取手形及び売掛金	2,237,611	2,344,585
商品及び製品	797,063	826,881
仕掛品	347,841	355,197
原材料及び貯蔵品	264,985	341,096
その他	40,973	23,315
貸倒引当金	△3,803	△3,985
流動資産合計	4,567,529	5,188,181
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,195,158	1,090,279
その他(純額)	1,173,327	1,201,049
有形固定資産合計	2,368,486	2,291,328
無形固定資産		
その他	16,130	14,521
無形固定資産合計	16,130	14,521
投資その他の資産		
その他	239,441	241,419
貸倒引当金	△2,324	△1,300
投資その他の資産合計	237,117	240,119
固定資産合計	2,621,734	2,545,969
資産合計	7,189,263	7,734,151
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883,844	1,190,135
短期借入金	1,960,000	2,060,000
1年内返済予定の長期借入金	73,316	573,316
未払金	261,409	243,590
未払法人税等	9,473	82,532
未払消費税等	97,695	29,877
賞与引当金	—	66,708
役員賞与引当金	7,500	9,000
その他	185,339	91,896
流動負債合計	3,478,578	4,347,056
固定負債		
長期借入金	1,153,335	598,348
役員退職慰労引当金	108,467	123,065
退職給付に係る負債	341,648	313,279
その他	134,753	128,023
固定負債合計	1,738,204	1,162,715
負債合計	5,216,782	5,509,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,283,724	1,506,678
自己株式	△7,749	△7,843
株主資本合計	1,944,413	2,167,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,793	43,212
為替換算調整勘定	5,273	13,894
その他の包括利益累計額合計	28,067	57,106
純資産合計	1,972,480	2,224,379
負債純資産合計	7,189,263	7,734,151

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年12月1日 至2021年8月31日)
売上高	4,776,981	5,763,742
売上原価	3,915,863	4,556,043
売上総利益	861,117	1,207,699
販売費及び一般管理費	808,825	861,057
営業利益	52,292	346,641
営業外収益		
受取利息	419	539
受取配当金	2,263	1,852
貸倒引当金戻入額	1,429	—
受取保険金	5,836	1,064
受取手数料	1,000	2,300
為替差益	—	4,409
その他	5,341	5,383
営業外収益合計	16,289	15,549
営業外費用		
支払利息	12,569	13,057
支払補償費	5,696	—
貸倒引当金繰入額	100	150
為替差損	3,872	—
その他	376	387
営業外費用合計	22,614	13,595
経常利益	45,966	348,596
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,164
国庫補助金等収入	5,570	10,091
特別利益合計	5,570	11,255
特別損失		
固定資産除却損	3,455	2,352
特別損失合計	3,455	2,352
税金等調整前四半期純利益	48,080	357,498
法人税、住民税及び事業税	17,622	87,220
法人税等調整額	△3,318	10,791
法人税等合計	14,303	98,011
四半期純利益	33,776	259,487
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,776	259,487



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	33,776	259,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,305	20,418
為替換算調整勘定	△949	8,620
その他の包括利益合計	△6,255	29,039
四半期包括利益	27,521	288,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,521	288,527
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)
前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,748,401	28,579	4,776,981	—	4,776,981
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,748,401	28,579	4,776,981	—	4,776,981
セグメント利益	29,418	22,873	52,292	—	52,292

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年12月1日 至 2021年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,735,248	28,493	5,763,742	—	5,763,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,735,248	28,493	5,763,742	—	5,763,742
セグメント利益	323,853	22,787	346,641	—	346,641

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。